



九条の会・いすみ市

会 報 34号
発 行 日 2024年 1月20日
発 行 人 九条の会・いすみ市
運営委員会

能登半島大震災お見舞いとお悔やみを申し上げます。被災地の一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

震災への対応 日常からの体制が機能していない！

元日の震災で政府の初動の遅れを指摘する声が上がっています。いまだに行方不明で救出されていない人々、救援物資もままならない困難のなかで「8カ国参加落下傘降下共同訓練」の強行は、岸田政権が優先すべきものが国民の命より軍拡であることは明らかであり、緊急時こそ救助救援のために一刻も早く自衛隊派遣の活用を首相は決断すべきでした。岸田首相が2日BSテレビ番組に出演し改憲への意気込みと自民党の国政選挙方針を語ったことには批判の声が湧き上がっていました。

終わらない戦争！民族虐殺！

2024年は波乱の始まりとなりましたが、世界を見てもロシアによるウクライナ侵略戦争は終わる気配すらなく、イスラエルによるパレスチナ侵攻は民族浄化ジェノサイドといえる残虐な状況がとどまることなく起きています。国際社会の大多数が停戦を求めるなかであって、イスラエルの最大支援国の米国が停戦に反対したことに深い失望と怒りの声が世界各地で巻き起こり抗議が広がっています。南アフリカは国際司法裁判所にイスラエルをジェノサイド違反で提訴しました。日本政府の対応はウクライナ侵略、ガザ侵略でもアメリカ次第という姿勢が見えます。

第一空挺団訓練 震災でも軍事訓練を最優先！

1月7日、千葉県習志野自衛隊駐屯地では唯一の落下傘部隊「第1空挺団」が（日米英仏独蘭加尼）8カ国が参加した共同落下傘降下訓練を実施。「どこの空にもオスプレイはいらない@フナバシ」と「安保関連法に反対するママの会@ちば」が中止を求めるネット署名と中止要請文を1月6日午前10時に習志野駐屯地に提出しました。平和憲法をもつ日本の自衛隊が、他国軍と共同で仮想敵を想定したこのような訓練は日本を戦争に近づけるものです。

辺野古埋め立て 基地の拡張は日本国全体の要塞化が進行する！

政府による辺野古軟弱地盤着工が強行されました。沖縄県が埋立を承認していないものを国が代執行し工事を強行、沖縄県民の民意を否定し民主主義と地方自治を完全に踏みにじっています。軟弱地盤を改良し埋め立てることは困難であり、多額の税金を投入しても到底不可能だと言われています。米軍基地建設の為に環境や地形は何ら考慮されていない、豊かな自然を破壊するものです。沖縄は米国の植民地か！県民の慟哭が、日本各地から岸田政権への怒りの声が聞こえてきます。

政治資金、パーティー券、裏金問題の本質は政治の大企業（金持ち）への付度！

経済は物価高騰と大企業優遇で労働者の実質賃金は上がっていません。国民生活の苦難も意に介さない政治家が企業からの賄賂を受け政治を長い間歪めてきたということを明らかにしました。金がすべてに優先する社会の増長、武器製造販売を促進する軍事体制の深刻な状況、マスコミの取り上げ方は遅いし本質を明示していません。数人の逮捕者だけで「安倍派5人衆」立件見送りに検察への批判も高まっています。「法の支配」といいますが、日本には最高法規の憲法はないのでしょうか。

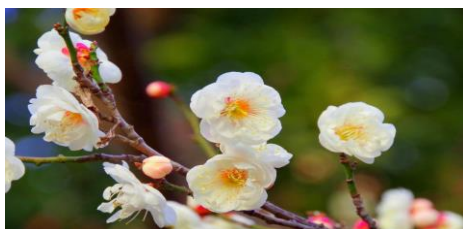
平和な社会、平等な社会はどこに消えて行くのか、黙ってはいられません！

憲法は法の下での平等を基本に政策は行なわれるべきだと考えて社会権を広く認めています。憲法は労働者の権利を明示していますが、労働法制は改訂され派遣・パートタイム労働が中心とされてきました。それでも労働者がストライキをする権利行使をすれば状態が改善されるということはあるのです。憲法に保障された人権を思い出して国民が必要とする政治への転換、改憲させない大運動が益々必要となってきます。不正を許さない、戦争反対、正当な権利主張を、署名・スタンディング・SNS活用など工夫して声をあげ続けましょう。

* ご報告：今年度の役員と2023年度の会計報告が、
1月10日の運営委員会で承認されました。
代表、近藤 会計、雪江 会計監査、山口 再任。
会計報告は別紙掲載しました。

2024年1月20日

運営委員会



世界中では今、この時、紛争により多くのこどもたちの命が失われています。背景はどうあれ軍事紛争によって無差別に命が失われているはずがありません。ましてやガザはジェノサイド(集団殺害)が行われています。いますぐ停戦が必要です。待ったなしです。話し合いや外交で問題解決していくことが望まれます。でも今、日本政府はとんでもないことをしようとしています。話し合いどころか人を殺すための武器をアメリカに輸出しようとしているのです。メイドインジャパンと書かれたミサイルが戦地の空を飛ぶ姿...。あってはならないことです。

憲法前文は世界平和に対する日本の役割が書いてあります。要約文お借りして...「三原則」国民主権・平和主義・基本的人権の尊重「永久に続く平和への願い。人類の平和を維持するため日本は世界に働きかける役割がある」

★そうです！この素晴らしい憲法をもつ日本こそ平和の外交を世界に働きかけなければいけないのです。この文章を書くに当たり憲法前文何度も読み返しました。感動!!

菊地

文化祭の感想

「受付をして感じたこと」

*展示が分かりやすく、インパクトがあって良かった。
公的な場所で九条の会が市民権を得ているのは日常的継続的に活動している結果と敬服します。

①若いお母さんは徴兵制に敏感ですぐに署名してくれ、ママ友二人に声をかけてくださった。その中の一人が4才位の子どもに「バナナ好きよね。ずっと食べられるように平和がいいね。」と話しかけ、短冊にメッセージを書いてくださった。(平和への思いひとことボード)

: 若いお母さんに九条・いすみ市のSNSを紹介すれば良かった。

②高齢の方は戦争だけは絶対に駄目！と声かけに応じて署名してください。

③中高年の特に男性は立場を考えてか、署名の内容に不安なのか、「大軍拡・大増税に反対する請願署名」をする時に緊張が見られた。核兵器廃絶署名は抵抗なく署名する方が多い。

*改めて署名は責任が伴うことを覚悟して書いてくださっているのだと強く感じた。

和久



2023年11月1, 2, 3日
大原文化センター・文化祭展示



学習会の予定

場 所 大原文化センター

資料代 100円

開催日 以下の土曜日

2月24日 3月23日 4月20日

時 間 AM 10:00~12:00

お知らせ



* 昨年は以下の署名を集められました。
今年も続けていきましょう！

大軍拡・大増税に反対する請願署名 109筆 総計207筆
日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名 85筆 総計113筆

* 2024年1月10日、4年ぶりに新年会を行い12名が参加しました。自己紹介と今年考えることなどを自由に語り合いました。楽しい集まりも行っていました！

ほっとタイム

産まれた時から天井のない監獄に閉じ込められているパレスチナの人々、イスラエルの蛮行はもはやジェノサイド!!国際社会の圧倒的停戦を求める声を無視したアメリカ! 日本企業の製造した武器が輸出され虐殺に加担している。ウクライナ戦争も終わりがいっこうに見えない。武器を製造するからこうして戦争が続き、人間同士殺し合うのだ。ネットに流れる凄惨な映像は直視するのもつらい、見たくないものが起きている現実に蓋をしてはならないと心の声がリフレインする。

編集後記 Rumi Kawashima

九条の会・
いすみ市
ホームページ
アドレス
<https://9jo-isumi.jp/>

九条の会・いすみ市HP
スマホから



パソコンから
<https://9jo-isumi.jp/>